

レベチラセタムドライシロップ50%「明治」 を服用される患者さんにご家族の方へ

お薬の飲み方

1回分のお薬をコップなどに入れ、適量の水を加えてよく混ぜてから服用してください。

注意

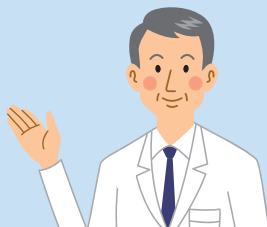
服用直前に混ぜてください。
つくり置きはせず、服用ごとに1回分
をつくるようにしてください。



レベチラセタム
ドライシロップ50%「明治」

お薬の保管

- お薬が固まる事があるので、光や湿気を避けて保管してください。
- 子どもの手の届かない場所で保管してください。



わからないことがある場合は、
医師または薬剤師にご相談ください。

抗てんかん薬

レベチラセタム錠・ドライシロップ「明治」 を服用される患者さんとお家族の方へ

レベチラセタム錠・ドライシロップ「明治」は、抗てんかん薬と呼ばれるお薬です。脳内の神経の過剰な興奮をしずめて、てんかん発作を抑えます。このお薬は、指示どおりに服用し続けることが重要です。体調が良くなったなどと自己判断により、服用を中止したり、量を加減しないようにしてください。

お薬を服用する前に確認いただきたいこと

次のような方はこのお薬を服用することはできませんので、必ず担当の医師または薬剤師にお伝えください。

- 以前にレベチラセタム錠に含まれる成分やピロリドン誘導体(ピラセタム(ミオカーム内服液33.3%))を服用して過敏な反応を経験したことがある方

次のような方は服用する前に必ず担当の医師または薬剤師に伝えてください。

- 以前にお薬を服用してかゆみや発疹などのアレルギー症状を経験したことがある方
- 腎臓に障害のある方
- 肝臓に重い障害のある方
- 妊娠または授乳中の方
- 他にお薬などを使っている方(一般用医薬品や健康食品を含めて)

お薬の服用中に気をつけていただくこと

- てんかん発作が悪化したり、てんかん重積状態*があらわれたりすることがあるので、自分の判断で服用する量を減らしたり、服用するのをやめたりしないでください。服用を中止する場合には、医師の指導の下で少なくとも2週間以上かけて徐々に減量します。

*てんかん重積状態：てんかん発作をくりかえし、なかなか回復しない状態

▶▶裏面もご参照ください。

お薬の服用中に気をつけていただくこと (表面から続く)

- 眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下がおこることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないでください。
- ちょっとした刺激で気持ちや体の調子が崩れる、意識が乱れる、考えがまとまらない、いらいらする、あせる、興奮しやすい、攻撃的になるなどの精神症状があらわれ、死にたいという気持ちになる可能性がありますので、患者さん、ご家族などの方はご注意ください。十分に理解できるまで医師から説明を受けてください。

患者さんへ

- 攻撃的になる、死にたいという気持ちになるなどの精神症状があらわれた場合、医師に相談してください。もし、気分に変化があったと感じた場合には、ご家族などの方にも伝えるようにしてください。

ご家族などの方へ

- 患者さんの状態の変化について観察して、変化が見られた場合には医師に連絡してください。
- 妊婦または妊娠している可能性がある方は医師に相談してください。
- 授乳中の方は授乳を避けてください。
- 他の医師を受診する場合や、薬局などで他のお薬を購入する場合は、必ずこのお薬を服用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

くすりのしおり、患者向医薬品ガイド、医療専門家向けの「添付文書情報」が
医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。